

神奈川県立柏陽高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおりに開催した。

審議会等名称	神奈川県立柏陽高等学校 令和6年度 第3回学校運営協議会
開催日時	令和7年3月3日(月) 13:30～15:30
開催場所	神奈川県立柏陽高等学校 大教室
〔役職名〕 出席者	<p>〔委員〕 川口 吉秋 (会長、元県立高等学校長)</p> <p>松永 朋美 (横浜市栄区長)</p> <p>家田 昌利 (横浜市消防局栄消防署長)</p> <p>細田 利明 (栄区連合町内会自治会長)</p> <p>湊 浩一 (横浜市立本郷中学校長)</p> <p>原 南実子 (横浜市立本郷台小学校長)</p> <p>田中 均 (柏樹会会長)</p> <p>高岸 竜也 (PTA 会長)</p> <p>野沢 重和 (柏陽高等学校長)</p> <p>〔事務局〕 大河原 広行 (副校長)、鈴木 克敏 (教頭)、飯塚 洋史 (事務長)、 中島 良光 (総括教諭)、水戸 瑞樹 (総括教諭)、 吉田 将人 (総括教諭)、市田 尚史 (総括教諭)、 万年 美喜子 (総括教諭)、松本 嘉恵 (教諭)、伊東 明宏 (教諭)</p>

～開会～

1 校長あいさつ

〈野沢校長〉2月14日学力検査があり、2月28日に合格発表があった。昨年より志願者50名増加した中で、319名が合格した。面接の廃止や入試の点数の比重を変えたのが影響か男子が増えている傾向がある。

今週3月7日金曜日には、卒業式が控えている。310名が卒業することになる。後ほど進路支援グループの市田から説明があるが、国公立大学の結果についてはまだ発表待ちである。

学校行事としては、今後は合唱祭や球技大会等がある。昨年同様に大いに盛り上がることを期待したい。本日は皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後に活かしていきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

2 協議

(1) 令和6年度の教育活動について

[各グループによる説明]

グループ	説明者	概要
総務・管理	中島 総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・例年と取り組みの面で大きな変更はない。 ・ICT関連の取り組みを資料に入れた。来年度より電子黒板が導入される。
研究・広報	水戸 総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、初のオープンキャンパスを実施した。 ・学校説明会の数を昨年度より増やし、今年度は4回行った。 ・中学校からの依頼で学校説明会を実施している。 ・探究活動チームが教育委員会の功労賞を受賞した。

		・魅力と特色ある高校づくりアンケートについて本年度からオリジナルの質問を追加した。
教 務 ・ 学 習	吉田 総括教諭	・授業改善に向けて指導主事等を招いて研究授業を行った。 ・評価４が５割程度を目標にしている。まだあと少しのところがあるので今後の課題である。
進路指導	市田 総括教諭	・例年通り 10 名程度が総合型選抜で合格した。総合型選抜の受験者数は既卒生も増えている。 ・一般選抜の結果については、国公立大学の発表がまだのため、議事録とともに国公立大学の合格者数を反映したものをお送りする。 ・進学情報について学びを深めるために、例年３年生の学年団と進路支援グループで行っている出願指導検討会を今年度は２年生の担任も一緒に行った。
生活支援	松本教諭	・横浜南地区交通安全高校生大会について今年度は本校が幹事校であったため、大会の委員長、副委員長を本校の生徒が努めた。また、資料のとおり交通安全啓発活動を行った。 ・かながわ子どもサポートドックを活用しての生徒への働きかけにより、スクールカウンセラー(以下、SC)やスクールソーシャルワーカー(以下、SSW)を利用する生徒が昨年に比べて増加した。
活動支援	万年 総括教諭	・今年度は、熱中症対策のため球技大会を半日開催した。 ・軽音楽部は全国大会への出場が３年連続となり、神奈川県高等学校文化連盟から奨励賞をもらった。 ・栄区との協働活動の中で今年度新たな取組については、卓球部がパラフェスタさかえ 2024 の運営補助した。また、写真部が栄区消防出初式の撮影協力を行った。

〔質疑応答〕

質問は特になし。

<松永区長> 日頃の柏陽高校の活躍を嬉しく思っている。今年度は、スポーツ協会主催の行事の活動場所を柏陽高校にお願いしている。

<家田署長>多くの写真を写真部に取っていただき感謝している。来年度も継続したい。今年度は、３月１日から防災フェアを行った。高校生も参加してほしいと思っているので例えば、クイズ研究同好会にクイズを作ってもらうなど協力をお願いできたらと考えている。

<細田会長>高校生が地域貢献をおこなうようにもっと学校に働きかけてほしい。令和 6 年度魅力と特色ある県立学校づくりについてのアンケート（以下、アンケート）の結果をみると学校に来るのが楽しいという回答が 50%程度であり、もっと多いと思った。少し残念に感じる。森のコンサートに軽音楽と吹奏楽が参加してくれた。近隣の住民の参加が少ないので中学校主催ではあるがより多くの参加の働きかけをお願いした

い。

<湊校長>いい学校と評判がいい。森のコンサートについては、会場のキャパシティの関係で難しいところがあるが、努力したい。学校に来るのが楽しくないと答えた生徒が 1.1%しかいない。学校行事の盛り上がりも感じられる結果である。清掃活動の指導もできている。素晴らしい学校づくりをされていると思う。

<原校長>探究活動の取り組みが実って来ていて嬉しい。学校での授業等が役に立つと思うと回答している生徒が 90%以上でプラスの面が目立つアンケート結果である。柏陽オリジナルの項目については否定的な回答が多い。これについては、社会につながる実感をたかめていく指導がもう少し必要ではないか。授業改善に向けて教員全体でとりくんでいるのが素晴らしい。

<田中会長>柏葉高校の生徒は日々勉強に追われており、学校生活が楽しいと感じることが難しい面もあるのでこのアンケート結果は妥当であると思う。取り組み全体についてどの事業も発展がみられ、職員室の雰囲気も明るくて良い。科学と文化について、大学の探究活動につながる活動ができている高校はそうはない。グローバル教育について教員の異動があってもその影響がなく実施できている。授業評価についてもどの教科もレーダーチャートの面積が多く、授業改善ができている。

年度当初 5 月から 6 月に今年度の方針についての教科会を開いても良いのではないかなと思う。進学結果が出揃ったところで他校と比較して教科会を実施したほうが良いのではないかな。生徒会活動が活発。同窓会としても関東大会以上の結果を出した際にお祝い金を渡している。同窓会として人材バンクを始めて 23 人の登録がある。柏陽の生徒の未来像となりそうなリストがあるので進路指導で活用してほしい。

<高岸会長>楽しく学校に通えている生徒が非常に多く素晴らしい。授業のレーダーチャートも高い。特に情報について、前回の結果から大きく改善したところから教員の努力が感じられる。学校の強みであると思う。

<田中会長>電子黒板が導入される。クラスルームで授業の資料を事前に配布しておくなど活用してほしい。授業の工夫の仕方はいくらでもあるので頑張してほしい。

(2) 令和 6 年度の学校評価について

グループ	説明者	概要
総務・管理	中島 総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修会等不祥事防止研修会を実施している。今後も実施していきたい。 ・電子黒板等の使いやすい環境を整えていきたい。
研究・広報	水戸 総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・科学と文化の評価について目標の 80%にとどかなかった(70%)が、生徒の興味・関心に応じて調査・研究ができているので、引き続き充実した活動を実施していきたい。 ・グローバル活動について活動後のレポートから生徒の満足度が高いように感じられた。 ・学校 HP を通じて学校の情報を十分に伝えることができていると思われる。 ・キャリアアップ講座についても満足度が高かった。
教務・学習	吉田 総括教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価については、4 段階で 3.25 を上回らなかったものは 1 つだけであり、その 1 つも 3.23 であった。基礎的なことが身につけていない生徒が一定数おり、

		そのような生徒に基礎学力を定着させて基本的なことをどう活用させるかが課題である。実力アップ講習の活用等で改善していきたい。
進路指導	市田 総括教諭	・現状での予測としては、私立が決まったあとに国公立を受けなかった生徒が目立ったため、国公立の進学率について目標達成は厳しいと思われる。
生活支援	松本教諭	・アンケートの質問項目の中で「SC・SSW に相談できたか」の項目の得点が低いのは、利用したことのない生徒の無回答が多かったことが原因と考えられる。 ・今後も引き続き、生徒が SC・SSW に気軽に相談できるように働きかけていく。
活動支援	万年 総括教諭	・アンケートの学校行事や部活動の充実に関する質問について、肯定評価が 90%を超えている。引き続き生徒の活動を支援していきたい。

〔質疑応答〕

質問は特になし。

(3) 意見交換

<高岸会長>

実力アップ講習でできない生徒のバックアップをしていることを校内評価に付け加えてほしい。SC・SSW がきちんと効果が出せるような環境づくりができてるのは素晴らしい。

進路指導について工夫したところを校内評価に付け加えてほしい。探究活動については、目標には達していないが活動は充実しているので今後も引き続き取り組んで経過をみてほしい。地域連携についても継続してほしい。もう少し地域に目を向けることについて付け加えると更に良いのでは。ICT についても進んでいる方であると思う。

<田中会長>

学習指導について、主体的に学習に取り組む態度は見えない学力であるが、その芯となるのは、思考力判断力を育もうとする教員の努力である。数年前に比べてかなり課題が明確になっているので、今後も引き続き頑張ってもらいたい。HP の更新回数が増えているのが非常に素晴らしい。

<原校長>

基礎学力についてどう捉えているか。他者の考えを知ると言う項目が低いように感じるがこの点についてどう授業改善に取り組んでいくかが大切だと思う。生徒が自分たちでつくる学校生活であるという考えを持つことが非常に大切であると思う。

SC・SSW にいつでも相談できる窓口をいつでも開けている雰囲気が重要である。研修が多いのが素晴らしい。

<湊校長>

基礎学力が定着していない生徒については、柏陽で頑張るのは相当難しいと思うので講習等で細やかな指導をお願いしたい。生徒主体の学校行事は素晴らしい。教員の動きが見えない(教員が黒子に徹している)体育祭には感動した。SC・SSW にかかわらない生徒も多いので「わからない」という回答は総数から引いて、活用したい生徒が必要なときに使えているかを評価したほうがいい。

探究的な活動は素晴らしい。何かの課題を見つけてそれを解決する活動が非常に学力がつく。柏陽の生徒は地域行事への貢献度が非常に高い方であると思う。

<細田会長>

地域では柏陽は学力の高い学校という評価であるが、その他の特長がわかりづらい。国公立の大学への入学率が高い学校であることを押し出してほしい。

<家田署長>

できれば消防団員にはいってほしい。アピールしていきたい。

<松永区長>

考えさせる授業、思考力を養う授業がよい。人権教育について他者と協働して活動する指導を継続的に行ってほしい。

<川口元会長>

基礎学力について、自分ができないことを声に出せない生徒がいるのではないかなと思う。そのような生徒の声を拾って指導ができる環境づくりを行ってほしい。勉強をしても伸びない子たちへの声掛けを粘り強く行ってほしい。SC や SSW の稼働率（勤務時間に対する生徒への対応時間）は非常に高い。それだけ高いのは素晴らしい。相談するのが特別になってしまうと活用しづらいのでそうならないように働きかけてほしい。進路結果の日程についてこれでよいのか？非常に高い進路実現ができていて感動している。新学習指導要領になることによる入試の変化等を教員間で共有する場をつくってほしい。地域の方を学校行事により多く呼べるように働きかけることも地域貢献活動だと思う。

<田中会長>

探究活動のポスターを英語で作成させてはどうか。ALT を派遣してもらって英語の指導をしてもらおうと更に良いのではないかな。学校に前向きになれない生徒については、最後は担任の先生だと思う。4月と9月は面談の機会をもち、一人ひとりと向き合う時間を大切にしてほしい。

<原校長>

地域との関わりが関わって終わりではなくて、その後地域からフィードバックをもらうことができると生徒の成功体験につながるのではないだろうか。

令和6年度の学校評価については、今回の会議でいただいたご意見をもとに学校評価報告書を作成する。

3 事務局より

<大河原副校長>

本日の議事録については、後日公開するが、その前にご確認いただきたい。

(1) 今後の日程について

<大河原副校長>

特になし。

(2) その他

<野沢校長>

支援を必要としている生徒が柏陽にも相当数いる。要因としては、授業でのペアワーク等の発表活動による自己肯定感の低下があると考えている。黙々と勉強するのは得意だがペアワークが苦手な生徒が一定数いる。SC・SSWの活用については、何を相談できるのかを広く広めることが大事である。SCは手一杯なのでSSWの活用が課題である。

与えられたものに応える力が高い生徒を優秀と捉える価値観から脱却できないと大学受験や社会に出てからは通用しない。求められる結果を実現するために必要なことを自ら考え、行動できるようにする指導が必要であると感じる。

～閉会～

今後の検討事項	
主な会議資料	<ul style="list-style-type: none">・ 次第・ 2025 年度入試柏陽高校国公立合格者数・ 柏陽高校の教育活動について
問合せ先	県立柏陽高等学校 副校長 大河原 広行 電話番号 045(892)2106